



こなつ便り

NPO 法人 地域福祉サポートあ・とむ
〒781-1111 高知県土佐市北地 623-1
TEL 088-852-7534 FAX 088-852-7535

～こなつのご紹介させていただきます～

- ・認知症ケアに特化しています。
- ・担当ケアマネとこなつ職員と作業療法士が参加する独自のケース検討会で、利用者様の状態をチームで理解できます。
- ・庭は緑いっぱい季節を楽しめ、東側は小学校の校庭があり、子どもたちの元気な声が聞こえます。
- ・小集団で個別対応が出来ます。
- ・ご利用者間の会話が活発に出来、笑いが絶えない時間が過ごせます。
- ・一人ひとりに応じた役割を実行することで本来の自分を取り戻します。

認知症対応型通所介護こなつ所長
谷元 京子

～2階のプログラムでは調理や外出を行っています～



3月
お花見



男の居場所



機能訓練



将棋で真剣勝負・・・!



朝の乾杯



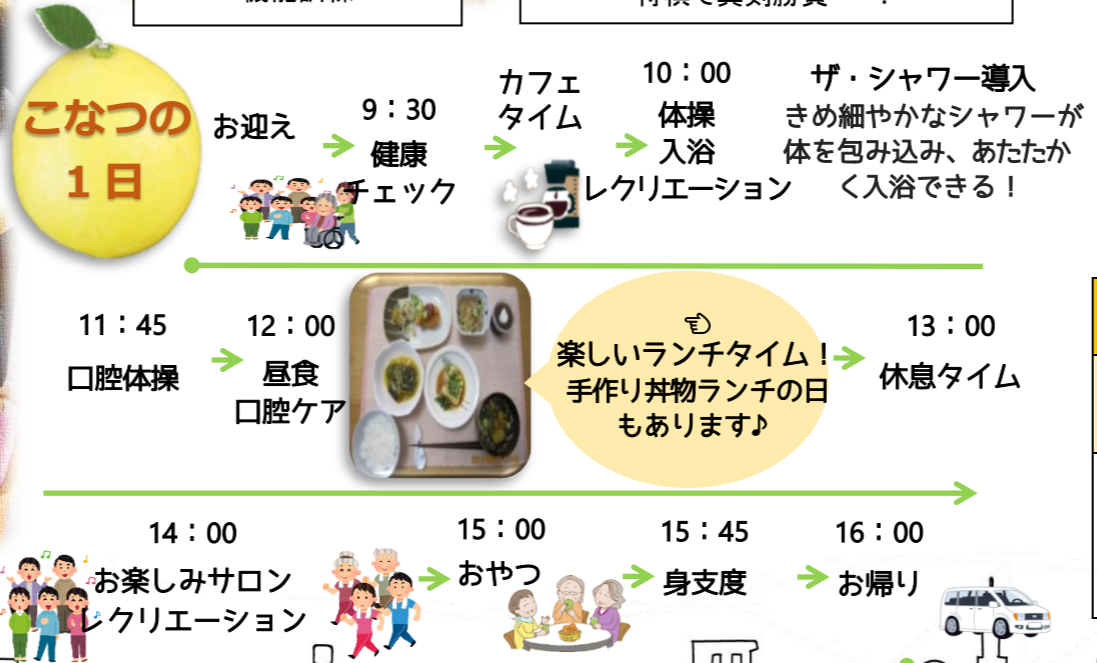
こなつサミット



体調チェック



体操



～作業療法士から見たこなつでのプログラム～

高齢期では、加齢とともにできなくなることや、一緒に過ごした人たちがいなくなる喪失体験が増えます。さらに認知症が重なってくると、物事や頼れる周りの人、自分さえもわからなくなることで、「周囲に迷惑がかかるのではないか」「自分は何もできなくなってしまった」「自分はようになっていくのだろう」と不安でいっぱいになります。

しかし、認知症になっても、すぐに全てができなくなるわけではありません。日常生活活動に加え、先人の知恵や、人を労わる・助け合うこと、今を楽しむことなど、まだまだできることがたくさんあります。

季節行事や外出は、今はいつなのか、この物事は何なのかを認識する脳機能に自然と働きかけます。馴染みの活動であれば「やってみよう」という気持ちになり、達成もしやすく、「これができた」「役に立てた」という感覚が持てます。また、楽しい体験を仲間と共にする事で、「ここにいるのも良いのだ」と安心して過ごせる時間が生まれます。体験自体を忘れたとしても、そういった感情は積み重なっていきます。できることをできる限り安心して続けることは、認知症の進行を遅らせるだけでなく、失っていた自信や意欲を取り戻すこともあります。

“昔取った杵柄”“馴染みの活動”“好きなこと”をプログラムにする際、ご利用者の個々の状態やできることを見極め提供することが大切です。作業療法士として、ご家族やケアマネからの情報も踏まえ、ケア会議にて一緒にプログラムを考えています。プログラムを通して、ご利用者それぞれが望む今の生活をサポートできればと思います。

作業療法士
佐野 飛鳥

デイサービスこなつ空き状況

	月	火	水	木	金	土
空き	△	○	△	○	△	△

